

# 土間ニケーション

～家族と訪問者と自然との  
豊かなコミュニケーションを育む家～

## ダイアグラム

(Cross Laminated Timber)

- ひき板を並べ、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料。
- ①断熱性能・耐震性・耐火性・遮炎性・遮熱性・遮音性に優れる
- ②コンクリートより軽く、製造時の二酸化炭素の排出量軽減により環境負荷が少ない
- ③森林の成長量に対して利用量は1/5にとどまり、戦後植えた物の収穫する時期となる
- ④CLT製造過程で発生する屑は圧力をかけバイオマス燃料・ペレットとして暖房での燃料となる
- ⑤地域材の活用は、しっかり地に根ざした健全な森林の保全にもなり、土砂災害を防いだり、里山の魅力を高め、水・土でつながる多様な生物が暮らす豊かな海洋環境の維持にも貢献できる



### A プライベート空間と共有空間の関係性

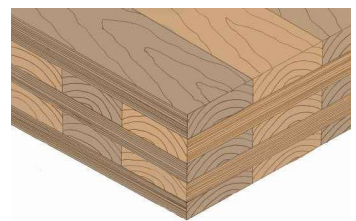
子供部屋（プライベート空間）が土間に突出する配置には、孤独を感じさせない家族の繋がりのある関係を意味する。二つの子供部屋の間には、土間に向かって開ける空間がリビング（共有空間）となる。LDKと子供部屋が物理的な距離だけでなく心の距離も近くなる計画。

### B 土間を挟む異なる機能性

土間を境に生活機能を分離。北側には家事の移動距離が短くなるように直線上に配置した動線計画。南側には居室をメインに配置。境界となる土間には家族が集まるLDK。

### C 土間への家具配置

室内でありながら外部と直接深い繋がりをもつ土間。日常生活を過ごすLDKやその家具を土間という中間領域に設け、内外部のどちらにも属す不思議な空間を感じられる。

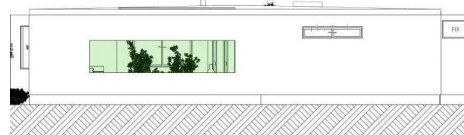


3 cm  
3 cm  
3 cm  
3 cm  
3 cm

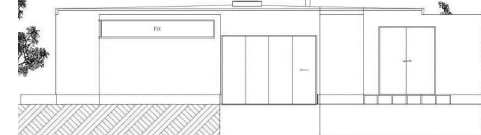
### 〈仕様〉

CLT 合板を使用した壁式構造  
樹種は京都府内産スギ、ヒノキを使用→地産地消  
壁厚 150 ミリ  
天井 180 ミリ で構成

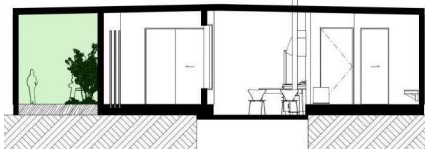
南側立面図



東側立面図



A-A' 断面図



### 〈中庭〉

内部と外部のどちらにも属さない、落ち着いた雰囲気の中庭。四季の移ろいを感じながら、趣味・時間を共有し成長する空間。

### 〈貫通する土間空間が家族とのキズナを生み出す〉

メインとなるLDKを、貫通する土間の中心に配置することで、家族が自然と家の中心に集まってくる。道路まで続く土間が近隣住民の訪問を促す。

### 〈四季の移ろいが育む豊かなネイチャーライフ〉

内外部に繋がる中間領域は子供室とリビングから見える中庭を落ち着いた空間とし、外部を自然豊かな空間とすることで変化をもたらす。

### 〈外観パース〉

- ①西側に土間とも接続する幅員 1.5m の小道を設け、近隣の住民同士が繋がりを保てる計画とした。裏口土間で生まれる新たな会話の場。
- ②動線に優れる洗面所からすぐ出られる屋根付き物干し場。晴天時は広がるウッドデッキを活用できる仕様。
- ③雨天でも濡れることなくスムーズに乗降車ができる駐車場。アプローチの土間にも屋根がかかっており、広々とした開放的な空間。
- ④西側の裏口。貫通する土間は風通しがよく、自然が家の中に入ってきたくなる大開口部。

